

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

梅 野 三年前ほど前、カルチャー教室で俳句を習い始めたのですが、体調を崩して中断していました。友人が八木会長の句会に誘ってくれたことがきっかけです。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

梅 野 カルチャー教室の俳句と全く違っていたので最初はとても戸惑いました。自分には作れないと思ったのですが、友人に「無理に滑稽俳句にしようとせず自分なりに作ればいいのよ」と言ってもらって楽になりました。自分の言葉で自由につくれるところが魅力ですね。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

梅 野 まだよく分かりませんが、特別なものではなく何気ない日常の中にあるものですね。

編集部 滑稽俳句を始めて良かった事は？

梅 野 いろいろな視点や発想を知ることが出来て、自分の世界、言葉が広がりました。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

梅 野 よく観察することでしょうか。吟行をしなくても日常生活をよく見ることですね。ものの見方、物事をとらえる心が大切だと思います。

【代表句】

幼子の帯ゆれてゐる土曜夜市
手袋ひとつ粉雪の校庭に
五月の巴里へひこうき雲ほどきつつ
入道雲山をかこみていばりをり
土手に座し母を待ちかね草の笛